

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子育てを地域で支えるソフトインフラ整備プロジェクト
事業主体 (連絡先)	学校法人 清泉女学院大学・清泉女学院短期大学 長野市大字上野2丁目120-8
事業区分	⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,487,516円 (うち支援金: 638,000円 地域連携プロジェクトの書類地域連携プロジェクトの書類円)

事業内容

「こども食堂」を年間6回開催し、貧困や孤食といった問題を抱える子どもや、子育てに奮闘中で地域との関わりの薄い親子に食事を提供するとともに、安心してくつろげる空間や居場所を提供した。併せて大学生による学習支援を実施。また参加型の遊びを提供するイベント「こども文化祭」を平成29年10月29日(日)に実施した。以上のことから、学生から高齢者を含む異世代の地域住民が子育て世代との交流を深め、地域一丸となって子どもの成長を見守ることができる社会基盤の整備をスタートさせた

<こども食堂参加人数>

こども 128名 保護者 116名 地域住民/学生 207名

<こども文化祭参加人数>

親子連れ約700名 地域住民/学生 62名

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①②

ひとり親家庭で、母親に代わって小学生の兄弟姉妹の面倒を見る女子高生や、発達障害を理由に外食をためらう母娘の参加もあり、いずれも「また参加したい」という感想をいただき、有意義な時間を過ごした様子であった。

③

自分の手料理を子どもたちが「美味しい」と頬張る姿を目の当たりにして、やりがいや生きがいを感じ、繰り返し参加する高齢者も多く、毎回約30名の地域住民の参加があった。また参加者の約2割が男性であり、さらに20~30代の若い男女の参加もあったことから、それぞれの持てる能力を発揮できる活気ある男女共同参画事業となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後は「こども食堂」の開催回数を増やし「子ども・子育て支援」の取組内容をより充実させる。また教育機関という強みを最大限に活かし「こども食堂」の未来を担う人材を育て、「信州こどもカフェ推進長野地域プラットフォーム」のネットワークを活用することにより「子ども・子育て支援」の輪を継続して拡大して行く。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【こども食堂の様子】

【目標・ねらい】

- ①子どもの「食べる・学ぶ・遊ぶ」を支援し貧困の連鎖の防止の一助とする
- ②子育て中の保護者と地域住民とのコミュニケーションの場を提供し、ストレスや不安感、孤独感を和らげる
- ③高齢者の社会参加を推進する

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・概ね計画通りの人数の子育て世帯の参加があり、リピーターも多く親睦が深められた。
- ・学習支援ボランティアを他のこども食堂へ派遣することができた。
- ・想定を上回る地域住民の協力が得られ、活気のある事業となった。

(別記様式第12号) (第3の8関係)